

# 休日当番医など (10月1日～11月15日)

地域医療課 ☎27-8572

## 休日 当番医 9時～17時

10月	1日 (日)	山口医院	平作町	24-1811
		ふかや耳鼻咽喉科	小名浜住吉	58-1187
		呉羽総合病院	錦町	63-2181
	8日 (日)	せき整形外科クリニック	常磐西郷町	84-9905
		おざかクリニック	泉滝尻	56-8777
	9日 (月)	矢吹病院	佐糠町	63-1818
		いわき湯本病院	常磐湯本町	42-3188
		石井脳神経外科・眼科病院	小名浜林城	58-3121
	15日 (日)	おおはらこどもクリニック	東田町	63-0001
		常磐病院	常磐上湯長谷町	81-5522
		須田医院	小島町	27-6060
	22日 (日)	山口医院	平作町	24-1811
		やまぐち整形外科	鹿島町走熊	29-7000
		櫛田病院	植田町	63-3202
	29日 (日)	織内医院	常磐関船町	44-1133
かしま病院		鹿島町下蔵持	58-8010	
呉羽総合病院		錦町	63-2181	
11月	3日 (金)	そえだ医院	常磐湯本町	68-6155
		小名浜生協病院	小名浜岡小名	53-4374
		こうじま慈愛病院	錦町	63-5141
	5日 (日)	かたよせウイメンズクリニック	常磐西郷町	42-4135
		よしおか内科胃腸科	平下平窪	22-8500
		磐城中央病院	小名浜南富岡	53-3511
	12日 (日)	松崎内科	植田町	63-3358
		はたの眼科	常磐関船町	42-2040
		小池整形・外科内科胃腸科	内郷綴町	26-3388
	15日 (日)	山口医院	平作町	24-1811
		いろは内科クリニック	小名浜愛宕町	73-0168
		呉羽総合病院	錦町	63-2181
	29日 (日)	根本内科胃腸科医院	常磐湯本町	43-4100
		村岡産婦人科医院	小名浜岡小名	92-4578
		櫛田病院	植田町	63-3202
11月 5日	いわき湯本病院	常磐湯本町	42-3188	

※症状によっては、専門外となる場合もありますので、不明な場合は、当番医療機関へお問い合わせください。

## 日曜 小児専門当番医 9時～12時

10月	1日	しがこどもクリニック	鹿島町久保	58-5505
	15日	こない子供クリニック	小名浜岡小名	73-8815
	29日	いわき草木台総合クリニック	草木台	28-1145
11月	5日	おおはらこどもクリニック	東田町	63-0001

※変更となる場合がありますので、事前に当番医療機関または消防テレホンガイド (☎23-0119) へお問い合わせください。市ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

## 休日 診療協力医

【内科】  
須田医院 (小島町)  
8時30分～12時 ☎27-6060

10月 8日、22日、29日  
11月 3日、12日

【脳神経外科】  
高坂脳外科クリニック (内郷宮町)  
9時～17時 ☎85-0333

11月 3日

【皮膚科】  
大田皮フ科医院 (四倉町)  
9時～12時30分 ☎32-2787

11月 3日

【泌尿器科】  
常磐病院 (常磐上湯長谷町)  
9時～15時 ☎81-5522

10月 1日、8日、15日、22日、29日  
11月 3日、5日、12日

【婦人科】  
いわき婦人科 (内郷綴町)  
9時～12時 ☎27-2885

10月 9日

【眼科】  
中央台たなか眼科 (中央台高久)  
9時～14時 ☎29-1722

10月 1日、8日、15日、22日、29日  
11月 5日、12日

※この他にも休日に診療している医療機関がありますので、あらかじめかかりつけの医療機関などで確かめてください。  
※診療の受け付けは、診療終了時間の30分前までとなります。

休日夜間急病診療所【内科・小児科】  
総合保健福祉センター隣 ☎27-1208  
平日：20時～23時 土曜日：19時～23時  
日曜日：14時～18時、19時～23時  
祝日：9時～13時、14時～18時、19時～23時

※患者・医療従事者間における感染拡大防止のため、新型コロナウイルス感染症・インフルエンザの検査は実施していません。  
休日救急歯科診療所  
総合保健福祉センター内 ☎27-8620  
日曜日、祝日：9時～12時、13時～16時  
(受付終了時間15時30分)

県子ども救急電話相談 ☎024-521-3790または#8000 (プッシュ回線・携帯電話) 毎日 19時～翌朝8時

県救急電話相談 ☎024-524-3020または#7119 (プッシュ回線・携帯電話) 毎日 24時間対応

●かかりつけ医を持ちまじょう

●「ハンビ」取寄せまじょう

●救急車は適正に利用しまじょう



# 市民の健康教室

提供・問い合わせ  
一社いわき市医師会 ☎38-4201

## 原発性局所多汗症

発汗は主に体温調節の役目を担い、生命活動に重要な現象の1つです。発汗の誘因には、温熱によるもの・精神的なもの・味覚刺激があります。また、続発性といって他の疾患などの合併症状として多量の発汗を認める場合があります。続発性の原因疾患には、薬剤性・薬物乱用・循環器疾患・悪性腫瘍・感染症・内分泌代謝疾患などが挙げられます。

対して、前述のような明らかな疾患も合併せず、局所的に発汗を著明に生じる場合を、原発性局所多汗症と呼びます。具体的には、頭部顔面多汗症・腋窩多汗症(わき)・掌蹠多汗症(手のひらと足底)となります。人によっては、腋窩だけであったり、複数の箇所の多汗症を伴う場合もあります。

原発性局所多汗症の部位によって、それぞれ固有の悩みがあります。例えば、手掌多汗症では握手ができないとか、本やノートが濡れたりするほどになる、人と共有するものに触れづらいなど様々なことに制限が出ます。部位にかかわらず共通する悩みは日常生活に支障を来すようになることです。

原発性多汗症の治療には、塩化アルミニウム製剤外用・抗コリン薬の外用や内服・ボツリヌス毒性製剤・交感神経遮断術などがありますが、発汗の部位により治療内容に違いが出たり、保険適用と適用外に分かれる場合があります。

多汗症では、日常生活に重度の支障が出るといつ傾向におよぶこともありますので、悩みを抱え込まずに医療機関へ相談してください。

## 形成外科医療録⑦

### 上肢と形成外科

上肢は運動器官の集合なので、その疾患の多くは整形外科の分野となります。形成外科医が扱う疾患は手指の疾患がほとんどです。

先天性疾患には、多指症・合指症や絞扼輪症候群などがあります。多指症は指が多い状態、合指症は隣り合った指同士がくっついている状態です。絞扼輪症候群は、指や腕に細い糸でしばったような皮膚のくびれが見られる疾患です。くびれの深さや部位により重症度が違ってきます。

腫瘍では、ガングリオンや巨細胞腫といったものが臨床で多く見られます。ガングリオンは手指や指の関節付近にできる比較的固いドーム状のきもので、関節液と関節包の変化が原因です。

外傷では、皮膚の開放創、熱傷・凍傷、切断指の再接着や指の屈筋腱損傷などを受け持ちます。切断指の再接着は手術用顕微鏡を有する施設で可能です。

爪の疾患では、外傷や感染症が一般的ですが、爪の下やその周辺にできる病変の種類は多く、爪の変形や痛みを伴うことも多いので、早期の受診を勧めます。

## けんこうQ&A 循環器科⑦

「心不全」を理解し、防ぎ、守り、共に生きるために知っておくべきこと

Q 症候性の心不全として治療が開始されました。普段の生活で注意すべきことを教えてください。

A 心不全の悪化の要因としては、まずは治療薬の怠薬、水分や塩分の過剰摂取が挙げられます。その他、感染症(特に肺炎や敗血症)、重症な脳障害、手術、腎機能の悪化、貧血の進行、喘息発作、薬物濫用(消炎鎮痛剤など)、アルコール多飲、過労、不眠、情動的・身体的ストレスなどが挙げられています。持病の悪化のないようにしっかりと管理を継続すること、必要なワクチンは必ず接種すること、痛み止めや熱冷ましのお薬、一部の漢方薬などは、症状が緩和されたら速やかに中止する方が良いでしょう。また、これらによる悪化の前に、通常体重の増加(体液貯留)を認めることが判っていますので、日々決められた時間に体重を測定し、短時間で1kg以上の体重増加がないことを確認しておく作業は、病態悪化の早期発見の観点からは有用でしょう。

適切なプログラムに基づく運動療法が、心不全の悪化に予防的に働くことが判っています。病態の安定している方では、主治医の指導の下、適切な運動を継続することが重要です。

かかりつけ医の紹介・相談は、医師会事務局へ(ホームページURL <https://www.iwaki.or.jp>)